

道連ニュース

2025年7月号 No.223

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

第69回 通常総会開催報告

6月26日(木)午後1時よりホテルポールスター札幌にて、第69回通常総会が、代議員31名（内訳：実出席15名書面議決16名）のもと開催されました。議長には、青木代議員（コープさっぽろ）が選出され、冒頭、理事会を代表して中島会長の挨拶ののち、来賓の北海道 高木 順一（北海道環境生活部くらし安全局長）様、北海道農業協同組合中央会代表理事長 樽井 功 様、北海道労働金庫 理事長 杉山 元 様により、ご祝辞を賜りました。平 専務理事が第1号議案～第6号議案まで一括して提案(下記 参照)し、すべての議案が承認されました。紺谷 特定監事により、監査報告がなされました。発言では、コープさっぽろ河井代議員より「みんなのよみきかせ絵本大賞の取組について」、北海道教育大学生協古屋代議員より「24年度学生生活実態調査から見た北海道教育大学の学生の生活について」北海道労済生協 若林代議員より「アプリでつながるたすけあいの取組」、こども食堂北海道ネットワーク事務局長の松本さんから「道内こども食堂の現状と課題について」発言がありました。尚、選任された役員を代表して、中島会長より、第1回



理事会が開かれ、役員の方担について引き続き、代表理事 中島会長、専務理事は平理事が決定したこと、特定監事 紺谷監事が互選されたことの報告がありました。続いて、新任の本間理事（コープさっぽろ）、退任される犬島理事（コープさっぽろ）よりご挨拶がなされました。

第1号議案 2024年度活動報告承認の件

第2号議案 2024年度事業報告書及び決算関係書類承認の件

第3号議案 2025年度活動計画及び予算決定の件

第4号議案 役員報酬決定の件

第5号議案 役員選任の件

第6号議案 議案決議効力発生の件

新旧役員ご挨拶



就任のご挨拶

コープさっぽろ生活協同組合
理事 本間恵理子 様

このたび、北海道生活協同組合連合会理事に就任させていただきます生活協同組合コープさっぽろ組合員理事の本間恵理子と申します。

私はこれまで、コープさっぽろの組合員理事として、組合員の暮らしに寄り添う様々な活動に携わってまいりました。道連の理事として北海道の生協の更なる発展と会員みなさまの生活向上を目指し精一杯尽くしていく所存です。力不足な事が多々あるかと思いますが、皆様よりご指導ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。よろしくお願いたします。



退任のご挨拶

コープさっぽろ生活協同組合
前理事 犬島 奈美 様

この度、総会をもちまして、北海道生活協同組合連合会の理事を退任することになりました。1年間という短い期間でしたが、会員の皆様、役職員、そして関係者の皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、微力ながらも活動を続けることができました。心より感謝申し上げます。持続可能な地域づくりに向けた取り組みや、地域社会の発展に貢献できるよう様々な課題に共に取り組んだことは、私にとって貴重な経験・財産となりました。今後は立場は変わりますが、北海道のさらなる発展と、会員の皆様の豊かな暮らしのために、引き続き応援してまいります。皆様のご健勝と、北海道生活協同組合連合会のみまますの発展を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

2025年度
通常総代会
報告

6月10日(火)京王プラザホテル札幌において、2025年度通常総代会を総代定数129名中120人（書面議決30人含む）の総代が出席し開催いたしました。

2024年度は中期5か年計画の初年度として、生活クラブ北海道にとって新たな歩み始める年となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、これまで続けてきた活動の形は大きく変わりました。私たちはその変化を受け止め、組織体制の見直しや新たな手法の導入など、さまざまな試みに挑戦し、中期計画の柱の一つである「ローカルSDGs（地域循環共生圏）」は地域の資源を生かし、食・エネルギー・福祉が北海道内で循環する社会を目ざし活動してきまし

た。私たちが単なる消費者ではなく生産の立場・視点をもって消費する生活者であることで生産者が持続的に生産を続けられるよう、その仲間を増やし利用を拡げることをすすめ、また地域福祉づくりとして地域住民や生活クラブ運動グループと連携した「居場所づくり」に取り組みました。家畜飼料では道産子実用トウモロコシでの給餌の実践や、ゲノム編集や遺伝子組み換え食品、香害、原発等社会問題に対し学習会や講演会を実施したほか、国や自治体への署名活動や要請等を行った2024年度の活動報告があり承認されました。

2025年は国際共同組合年でもあります。生活クラブ北海道では地域とコミュニティを再生し、持続可能な社会へと転換しようとしている仲間たちを増やすことを生活クラブの組合員として自分たちの活動として捉え、こらからの活動をどのようにすすめていくべきかを共有し2025年度の活動がスタートしました。



北海道電力生活協同組合

組合員とその家族の「暮らしのパートナー」として、
役職員一同、着実に事業推進に取り組んでまいります。



北海道電力生活協同組合「2025年度通常総代会」を6月12日(休)札幌ビューホテル大通公園において、総代定数110名中、109名が出席して開催しました。

議案は①2024年度事業報告、決算報告、監査報告に関する件、②第2号議案2024年度剰余金処分に関する件、③定款変更に関する件、④2025年度事業計画および収支予算に関する件、⑤2025年度役員報酬額に関する件、⑥退任役員慰労（記念品）に関する件、



⑦利用分量割戻金の全額出資金への振替に関する件、⑧役員補充選挙に関する件、全8議案を提案・審議し、全議案とも可決承認されました。第8号議案の「役員補充選挙に関する件」では、理事7名、監事2名の役員交代が承認され、常勤の専務理事として坂本哲也が昇任しました。

2025年度の事業計画について、改めて、生協の基本理念である「協同互助（相互扶助）」の精神に基づき、生協利用のメリットを広く伝えていく活動を展開し、組合員とその家族の暮らしのパートナーとして、役職員一同、着実に事業推進に努めていくことを確認し閉会しました。